

ID:	=患者情報!B1		(CBDCA + nab-PTX + テセントリク) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2	殿						
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	入院/外来	入力日	年	月	日	
疾患名	非扁平上皮性非小細胞肺癌			開始日	年	月	日	
クール	CBDCA・・・Day1 , nab-PTX・・・Day1, 8, 15 テセントリク・・・Day1 3週毎 4～6コースまで→PD又は有害事象 無ければテセントリク単剤で継続			診療科	呼吸器 (<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 外科)			
適応基準	<input checked="" type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input checked="" type="checkbox"/> PS:0-1 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発			医師名				
身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00 m ²	告知の有無	P S	同意書取得 <input type="checkbox"/> 済

重要 B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

薬品名	薬品名	単位	薬品名	単位	【必須】 血液製剤に 関する説明 と同意書 <input type="checkbox"/> 済	外来 化療 加算 <input type="checkbox"/> 済	<input checked="" type="checkbox"/> A
CBDCA AUC 6	アブラキサン 100 (PTX:アルブミン懸濁型)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body	アテゾリスマブ* 1200	<input type="checkbox"/> mg/m ² <input checked="" type="checkbox"/> mg/body			<input type="checkbox"/> B

Day 8 および Day15 のアブラキサンのみ投与する場合は⑤'のみ投与。

レジメン内容

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
Day1				
①	生理食塩液(50mL)	50mL	D.I.V	10分
②	アテゾリスマブ注 [テセントリク]	1200 mg	D.I.V	1時間 ※初回投与の忍容性が良好 であれば、2回目以降は 30分まで短縮可能
	生食液(250mL)	250 mL		
③	生理食塩液(50mL)	50mL	D.I.V	10分
④	アロリス点滴静注(235mg)	1V	D.I.V	30分
	デキサート注(3.3mg)	3.3mg		
	アロキン点滴静注バッグ (0.75mg/50mL/袋)	1袋		
⑤	アブラキサン点滴静注用 (ハクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分
	生食液(100mL) ※ ※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注	100mL		
⑥	カルボプラチン注(CBDCA)	mg	D.I.V	60分
	生食液(250mL)	250mL		
⑦	生食液(100mL)	100mL	D.I.V	30分
Day8、15 (前投薬、支持療法不要)				
⑤'	アブラキサン点滴静注用 (ハクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分
	生食液(100mL) ※ ※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注	100mL		

血漿分画製剤で、ロット番号の記録および保存が必要！

調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照
1バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。
残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

薬剤師へ; テセントリク混注時は必ずフィルター付きプライミングセットを使用して下さい。

アブラキサンについては、インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。

	1-①	1-②	1-③	2-①	2-②	2-③	確認者	監査者
	Day	1	8	15	22	29		
カルボプラチン				↓				
アブラキサン		↓	↓	↓	↓	↓		
テセントリク				↓				

- 【払出し～回収まで】
- ①Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入+シール貼付する。 ※事前準備はしない
 - ②注射薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
 - ③看護部側へは、注射薬・薬剤包装箱・ロットシールを払い出す。
※注射薬には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。
(混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
 - ④看護部側は投与後、注射薬にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
 - ⑤薬剤部は、実施後の注射薬が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。